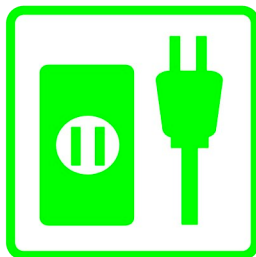


生活情報 威胁家电制品安全的“因灰尘而引发的漏电现象”

生活情報 家電製品の安全「トラッキング現象」

大家平时所使用的家电制品，绝对离不开插座。特别是电视、冰箱以及洗衣机等电源插头，大部分都是长期将插头插在插座里使用的。这样的情况如果常年置之不理的话，电源系统就会出现发生火灾的危险。在这一期里，我们打算就因灰尘而引起的漏电现象，为大家作一下介绍。



(接下页)

皆さんが普段利用している家電製品には、コンセントが不可欠です。特に、テレビや冷蔵庫、洗濯機など電源プラグをコンセントに差し込んだまま使い続けている家電製品は少なくありません。これらは長年放置していると、トラッキング現象により火災になる危険性があります。今号ではトラッキング現象について説明します。

(次頁に続く)

(接前頁)

【何谓因灰尘而引发的漏电现象】

要是将插头长时间地插在插座里，那么插头就会在不知不觉中与插座板之间产生缝隙，之后便会覆盖上灰尘。而潮气等要是附着于插头和插座间，就会产生比较容易通电的状态，电流如果通过插头的电片，那么电片便会发热，有的时候（较少）还会出现火花。同时发生短路，形成表面上的碳化线路（因灰尘而引起火），从而造成“因灰尘而引发的漏电现象”。因灰尘而引发的漏电现象有时会导致火灾，而灰尘漏电所引发的火灾，很难从插头部分确定火灾原因，要是在夜间或家中无人的时候发生的话，发现时间也会推迟，因此难免带来灾害。

【如何防止因灰尘而引发的漏电现象发生】

为了防止因灰尘而引发的漏电现象发生，需要检查一下长时间插在插座里的插头上是否附有灰尘。重要的是要时常检查、打扫。有时将插头拔下来，用干布将其上面的灰尘擦去。而附着在插座附近的灰尘，要用干棉花棍儿将其拭去，或是用吸尘器将灰尘吸走也是不错的办法。特别是家具后面、用手够不着的插座，往往很少去检查，擦拭它们。最近，市面上有卖一种叫做插头盖的东西，不妨买回来将不用的插座盖上，以避免灰。家电制品，即使在不用的时候，如果插头插在插座里的话，也会处于通电状态，因此需要对始终插着电源的冰箱、电视、录像机、电脑、厨房及洗脸间等潮气多的地方的家电，要特别的注意。



【留意家电的这些部分！】

◎在使用家电制品前，要好好阅读使用说明

(前頁より)

【トラッキング現象とは】

プラグを長期間コンセントに差し込んだままにしておくと、知らないうちにプラグの周辺に隙間ができ、その上にホコリがたまっていることがあります。このホコリに湿気などが付着し、通電しやすい状態になると差し込みプラグの刃の間に電気が流れて発熱し、まれに火花が出ます。そしてショートを起こして表面に炭化経路（トラッキング）が形成されて出火する現象、これが「トラッキング現象」です。トラッキング現象は火災の原因になることもあります。トラッキング現象による火災は、コンセント部分で発生することから見つけにくく、夜間や不在の時に発生した場合、発見が遅れて思わぬ被害になる場合があります。

【トラッキング現象を防ぐには】

トラッキング現象による火災を防ぐためには、長時間コンセントに差し込んだまま使っているプラグにホコリなどが付いていないか、点検・掃除をすることが大切です。プラグは時々抜いて、乾いた布でホコリを拭き取ります。コンセントの差し込み口周辺にたまったホコリは、乾いた綿棒で取るか、掃除機で軽く吸い取ると良いでしょう。特に家具の裏側など、手の届きにくい場所にあるコンセントは、手入れがあるそかになりがちです。最近ではコンセントのカバーなども販売されているので、使っていないコンセントのホコリよけに利用するのもいいでしょう。電気機器は使っていないくても、プラグを差し込んだままだと通電状態になっています。プラグを入れたままにする冷蔵庫、テレビ、ビデオやパソコン、キッチンや洗面所など、湿気の多い場所にある機器も注意が必要です。

【家電製品のここに注意！】

◎電気製品などは使用する前に、取り扱い説明書をよく読みましょう。

書。

◎不要将软线弄成把，或者使用拧劲的软线。

◎不要把软线压在家具下面，也不要使软线因受压而受损。

◎最好是养成将不用的电器插头从插座中拔下来的习惯。

◎冰箱或空调等随时都将插头插在插座里的家电，要定期地将插头拔出来，并清除、擦净附着于上的灰尘。

◎拔插头的时候，不要通过扯软线来拔，而是要拔插头本身部分。

◎当感觉到与家电电源相连接的插座、插头、软线等发热的时候，就需要将插头拔下来，并请电工来检查或换新的插头或插座。

◎位于洗脸间及厨房等湿气重、有热气或有水滴的地方，要时而将插头拔下来，用干布将其上面的湿气擦干。

【多极插座】

想必随着电器使用数量的增加，插头不够用了，于是就用多极插座的人，一定不少吧。可是您知道吗？这种多极插座，其电容是有极限的。一个插头同时可以使用的电容，大致定在 15 安培左右。如果是两个插座的话，两个插头的电容极限仍然是 15 安培左右。使用多极插座时，需要计算电器上所标示的瓦特，并按照 $100 \text{ 瓦特} = 1 \text{ 安培}$ 这一公式来换算电容，从而检查一下插座所使用的所有电器，其综合电容是否超过 15 安培。如果超过规定安培同时使用电器的话，插座就有可能发热，且起火的可能性也很大。空调及微波炉等超过 10 安培的电器，最好是单独使用不同的插座。此外，不需要时刻都插着的插头，从安全及节约能源的角度出发，也应该经常将其拔下来。

◎コードを束ねたり、ねじれたままの状態で使用しないようにしましょう。

◎コードが家具などの下敷きになったり、押しつけなどにより傷つかないようにしましょう。

◎使用していない電気製品のプラグは、コンセントから抜く習慣をつけましょう。

◎冷蔵庫やエアコンなど常にプラグを差し込んであるコンセントは、定期的にプラグを抜いて、ホコリをためないように掃除しましょう。

◎プラグを抜く際は、コード部分を持って引っ張らないで、プラグ本体を持つようにしましょう。

◎電気器具が接続されているコンセント、プラグ、コード等の表面を手で触って熱いときは、プラグをコンセントから抜き、電気屋さんなどに点検を依頼したり、新しいものに取り替えましょう。

◎洗面所や台所など、湿気が多く湯気や水滴が直接かかる位置にある電源プラグは時々抜いて乾いた布で水気を取りましょう。

【タコ足配線】

使用する電気機器の数が増え、コンセントが足りなくてテーブルタップを使用する方も多々あります。このテーブルタップにも電気容量の上限があるのを知っていますか？ 1 つのコンセントで同時に使用できる電気容量は、だいたい 15 アンペアまでと決まっています。差し込み口が 2 つの場合は、2 口合わせて 15 アンペアまでです。テーブルタップを使用している場合は、電気機器に表示されているワット数を計算して、 $100 \text{ ワット} = 1 \text{ アンペア}$ で換算してみましょう。1 つのコンセントで使っている機器の合計容量が、15 アンペアを超えていませんか？ 容量を超えて電気機器を同時に使うと、プラグが発熱して出火の可能性が高くなります。エアコンや電子レンジなど 10 アンペアを超える機器の場合は、1 つだけでコンセ

如果住在比较旧的住宅或公寓，要是插头不够用的话，是可以增加的。请咨询您住处附近的电器店。

【将破损的插销、插头及软线换掉】

将插头插进插座里的时候，是不是有发软的感觉呢？这是由于插座内部的弹簧，经常年使用后变松弛的缘故。要是插头与插座接得不够紧密的话，插头就会因此而掉下来，或是发热。此外，插座要是破损、里面的电极暴露出来的话，还会造成触电或漏电事故。同时，插头的螺丝如果松弛，软线受损的话，就会引起接触不良，从而使电器出现故障，也会引起触电或短路，甚至造成火灾。因此，破损的插销、插头及软线，最好是尽早请电工来将其换掉。同时，也需要注意插销、插头及软线的使用方法。将插头插进插座的时候，为了做到两者接触完全，一定要将插头插到底。此外，不要用力拉软线，或是用胶布固定软线，或是将软线绑成把来使用，这些都有使软线遭到破损的危险。对于软线及插头，需要小心使用。

因灰尘而引发的漏电现象所导致的火灾，每年都会发生很多起。而且不论家中是否有人，都曾经发生过。特别是家中无人的时候，起火后发现得较晚，因此由起火变成火灾的情况占了大多数。尽管如此，因灰尘而引发的漏电现象却存在着很少为人所知的情况，需要人们严加注意。借着家中大扫除的机会，检查一下插销或插座；同时，最好是养成长期外出时，将插头及电源拔掉的习惯。(1)



ントを使う方がいいでしょう。また、常に差し
ておく必要のないプラグは、安全や省エネのためにもこまめに抜いておきましょう。古い住宅やマンションなどでコンセントが足りない場合は、増やすことも出来るので、近くの電気工事店などに相談しましょう。

【傷んだプラグやコードは取り替えましょう】

プラグをコンセントに差し込んだ時、グラグラして緩みがありませんか？これはコンセントの内部のバネが、長年の使用で緩んできているためです。プラグとコンセントの接続が不完全になるとプラグが外れたり、発熱する原因になります。また、コンセントが破損して中の電極が露出していると感電や漏電を招きます。さらにプラグのネジが緩んでいたり、コードが傷んでいると、接触不良を起こして電気機器の故障を招いたり、感電やショートによる火災の原因にもなります。壊れたプラグやコンセント、コードは早めに電気店などで取り替えてもらいましょう。またプラグやコードの扱い方にも注意しましょう。プラグをコンセントに差し込む時は、確実に接続できるように、奥までしっかり差し込みましょう。さらにコードを強く引っ張ったり、コードをテープで留めたり、束ねて使ったりするとコードが破損するので危険です。コードやプラグはていねいに扱うように心がけましょう。

トラッキング現象による火災は、毎年多発しています。しかも在宅、不在宅にかかわらず発生します。特に不在宅時の場合、発見が遅れて炎上火災に至っているのがほとんどです。しかし、トラッキング現象は一般的にはあまり知られていない傾向にありますので、厳重な注意が必要です。大掃除などの機会をとらえて清掃やチェックをし、長期間外出する時は、出来るだけコンセントから抜くように習慣付けると良いでしょう。(1)